

神鋼記念病院形成外科・乳腺科の患者さんへ：

AYA 世代と非 AYA 世代の乳房再建率・術式選択の比較に関する単施設後方視的観察研究

2025 年 10 月 神鋼記念病院形成外科

1. 研究の目的・意義

乳癌は日本人女性の約 10 人に 1 人が罹患し、女性で最も多いがんです。年代別では 30 歳代から増加し、40～50 歳代でピークを迎えます。乳癌の外科的治療には部分切除（乳房温存術）と全切除があり、全切除後に乳房再建術を受ける方も多くみられます。近年、整容性や心理的安定を重視して再建を希望する方が増え、全切除患者の約 3 割が再建を受けているといわれています。

30 歳代は結婚や妊娠・出産などライフイベントが重なる年代でもあり、思春期／若年成人（AYA）世代（15～39 歳）における乳房再建の現状を明らかにすることは、今後の情報提供や個々の患者さんに応じた治療選択支援に役立ちます。

本研究では、当院での乳房再建率や術式選択を AYA 世代と非 AYA 世代で比較し、今後の診療や支援体制の向上に活かすことを目的としています。

2. 情報の取得期間

2020 年 1 月 1 日から 2025 年 9 月 30 日の間に当院乳腺外科で乳癌手術(乳腺部分切除、乳腺前節所)あるいは形成外科で乳房再建を行なった患者様を対象とします。

3. 診療情報の項目

臨床情報（年齢、妊娠・出産歴、乳癌治療歴、乳癌ステージ、乳腺科術式、再建術式、再建術式選択の理由など）について、診療録をもとに匿名化した状態で、解析に用います。

4. 解析結果は学会発表、論文として公表致します。

5. 個人情報の保護

得られたデータは研究対象者識別コードを用いて匿名化した状態で院内ネットワーク上に存在する形成外科医のみがアクセスできるフォルダ(『形成外科専用』)にパスワードロックをかけた状態で保存し、同場所からの持ち出しは行ないません。また、研究期間(2025 年 11 月 1 日～2026 年 11 月 1 日)が終了した段階で破棄します。

この研究で得た統計データは学術目的のみで利用されます。従って、学会発表や論

文から個人が特定される恐れはありません。本研究参加者以外の第三者に個人情報が流出することはありません。各患者さんのプライバシーは厳重に保護されますのでご安心ください。なお、これら情報の取り扱いや利用目的が妥当であることについて、倫理委員会による審査をうけています。

6. 利益相反

私共の研究に関して、個人や会社との利益相反はありません。

7. 研究への参加を拒否される場合は、当院の下記担当者までご連絡ください。

当院における連絡先： 神鋼記念病院 形成外科

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1丁目4-47

Tel: 078-261-6711, FAX: 078-261-6726

形成外科：白木 恵梨子